

# I 調査結果の概要

# 1 林業経営の概要

(1) 全国林家1戸当たりの林業粗収益は275万円で、前年度に比べ6.8%増加し、林業経営費は224万円で、ほぼ前年度並みであった。

この結果、林業粗収益から林業経営費を差し引いた林業所得は52万円であった。

これは、伐採量の増加により林業粗収益が増加したためである。

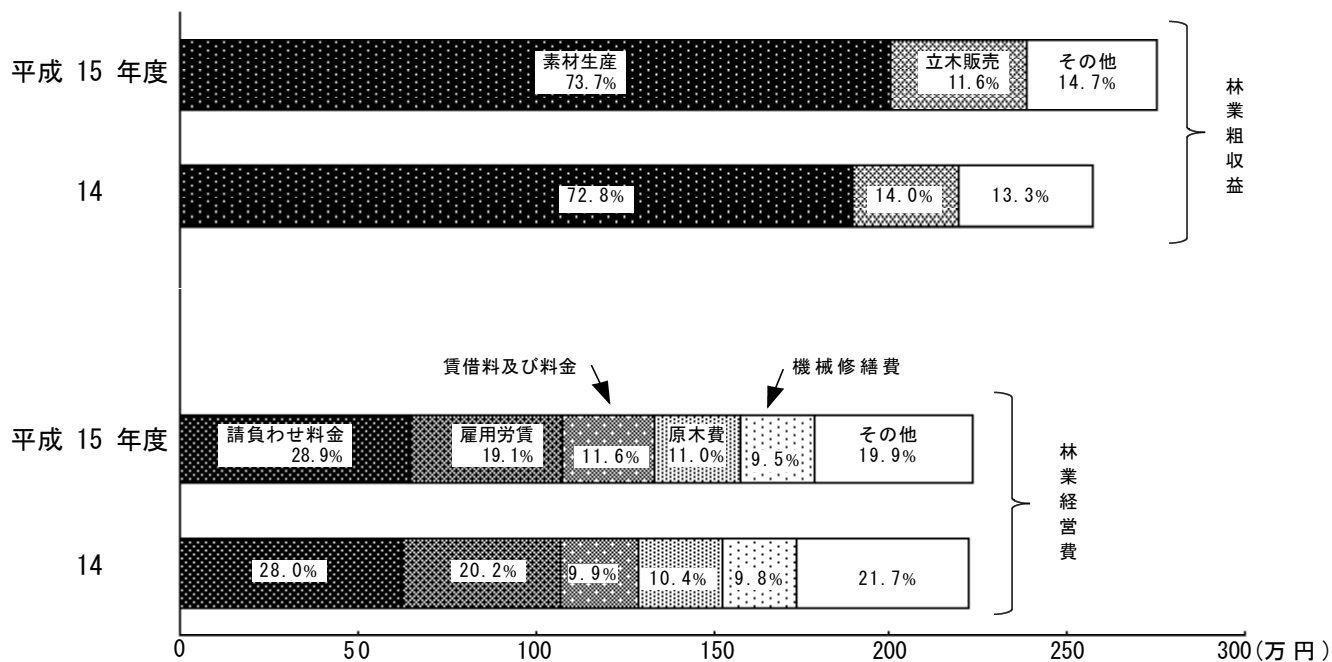
(2) 林業経営費に占める主要費目の構成割合は、請負わせ料金が28.9%と最も高く、次いで雇用労賃が19.1%、賃借料及び料金が11.6%の順となっている。

表1 林家の林業経営収支  
(全国1戸当たり)

区分	単位：千円		
	平成15年度	14	対前年度増減率(%)
林業粗収益	2 751	2 575	6.8
立木販売	384	299	28.4
素材生産	2 002	1 897	5.5
その他	365	379	△ 3.7
林業経営費	2 235	2 224	0.5
うち、雇用労賃	428	449	△ 4.7
原木費	245	232	5.6
機械修繕費	212	218	△ 2.8
賃借料及び料金	259	219	18.3
請負わせ料金	645	622	3.7
林業所得	516	351	47.0
所得率(%)	18.8	13.6	5.2

注：所得率の対前年度増減率は、対前年度差である。

図1 林家の林業粗収益及び林業経営費（全国1戸当たり）



## 2 栽培きのご経営の概要

### (1) 生しいたけ（原木栽培）の経営収支

ア 生しいたけ（原木栽培）経営の全国1戸当たりの粗収益は211万円で、前年度に比べ5.2%減少した。これは、出荷数量の減少による。

イ 経営費は174万円で、前年度に比べ0.7%増加した。これは、出荷数量の減少により賃借料・料金が減少したものの、原木価格の上昇により原木費が増加したこと等による。経営費に占める主要費目別の構成割合は、原木費が57.0%と最も高い割合を占め、次いで機械修繕費が9.2%、光熱動力費が7.3%の順となっている。

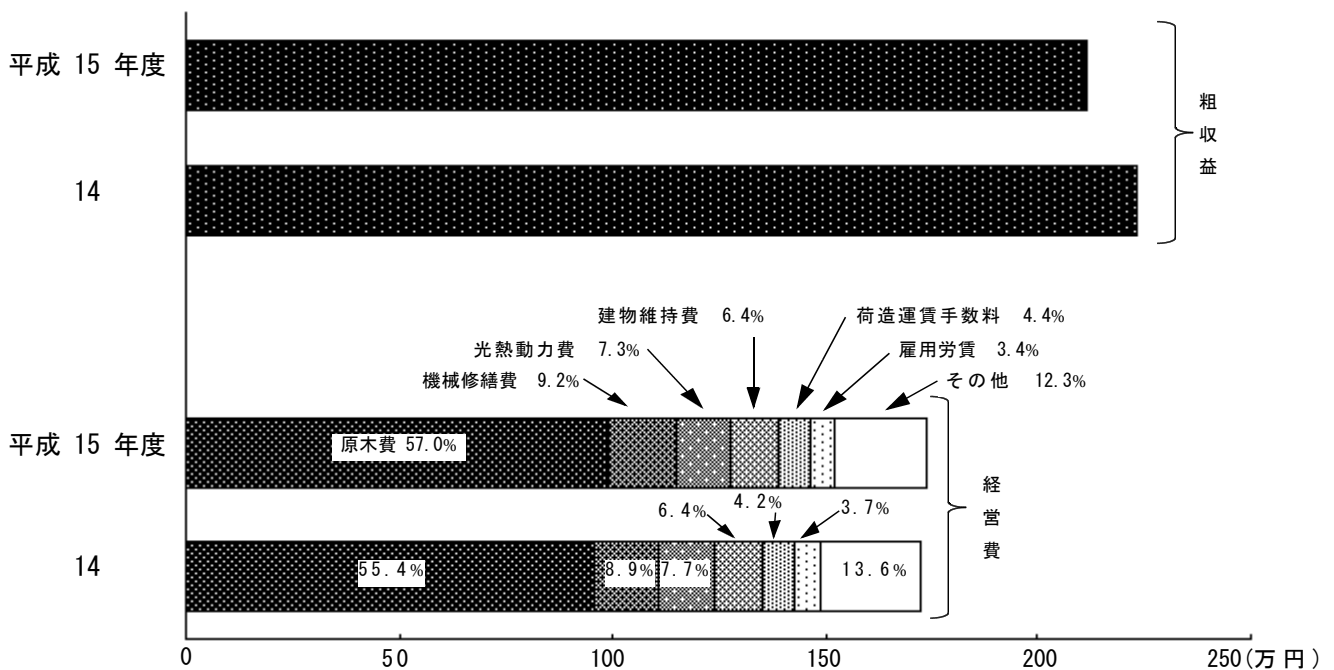
ウ この結果、粗収益から経営費を差し引いた所得は、前年度に比べ25.4%減少し38万円となった。

表2 生しいたけ（原木栽培）の経営収支  
（全国1戸当たり）

		単位：千円		
区 分	平成15年度	14	対前年度増減率(%)	
粗 収 益	2 114	2 231	△ 5.2	
経 営 費	1 736	1 723	0.7	
うち、種 菌 費	5	9	△ 44.4	
原木費	989	955	3.5	
光熱動力費	127	132	△ 4.1	
機械修繕費	160	153	4.2	
建物維持費	111	111	0.5	
賃借料・料金	23	32	△ 28.0	
荷造運賃手数料	77	73	5.9	
所 得	379	508	△ 25.4	
所得率(%)	17.9	22.8	△ 4.9	

注： 所得率の対前年度増減率は、対前年度差である。

図2 生しいたけ（原木栽培）の粗収益と経営費（全国1戸当たり）



## (2) 生しいたけ（菌床栽培）の経営収支

ア 生しいたけ（菌床栽培）経営の全国1戸当たりの粗収益は734万円で、ほぼ前年度並みであった。

イ 経営費は522万円で、前年度に比べ1.3%増加した。これは、自家生産菌床の増加から種菌費が増加したこと、出荷量が増加したことにより荷造運賃手数料が増加したこと等による。

経営費に占める主要費目の構成割合は、菌床材料費が43.2%と最も高い割合を占め、次いで光熱動力費が12.7%、雇用労賃が9.0%の順となっている。

ウ この結果、粗収益から経営費を差し引いた所得は212万円で、ほぼ前年度並みとなった。

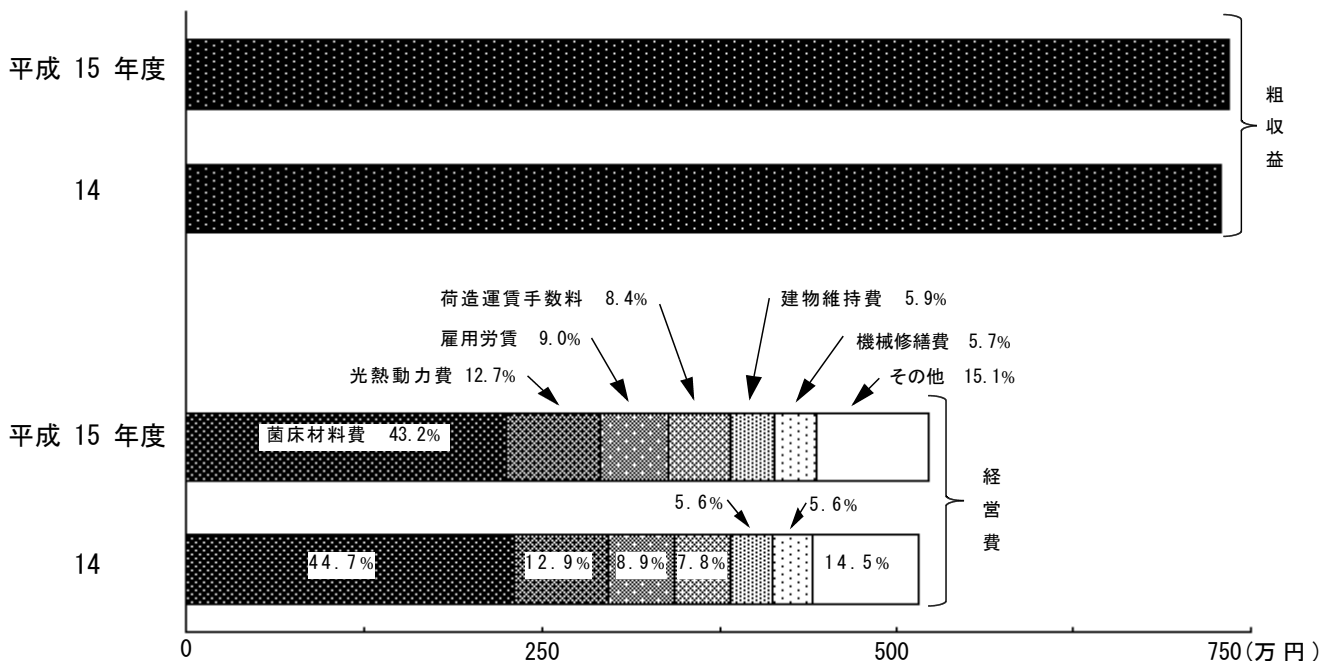
表3 生しいたけ（菌床栽培）の経営収支

（全国1戸当たり） 単位：千円

区分	平成15年度	14	対前年度増減率(%)
粗収益	7 339	7 291	0.7
経営費	5 220	5 154	1.3
うち、雇用労賃	470	461	1.8
種菌費	180	133	35.6
菌床材料費	2 256	2 306	△ 2.2
光熱動力費	662	665	△ 0.5
建物維持費	308	287	7.5
賃借料・料金	132	167	△ 20.9
荷造運賃手数料	441	402	9.7
所得	2 120	2 137	△ 0.8
所得率(%)	28.9	29.3	△ 0.4

注： 所得率の対前年度増減率は、対前年度差である。

図3 生しいたけ（菌床栽培）の粗収益と経営費（全国1戸当たり）



(3) 乾燥しいたけ（原木栽培）の経営収支

ア 乾燥しいたけ（原木栽培）経営の全国1戸当たりの粗収益は104万円で、ほぼ前年度並みであった。

イ 経営費は78万円で、前年度に比べ8.7%減少した。これは、減価償却費の減少により機械修繕費、建物維持費が減少したこと、出荷量の減少により賃借料・料金が減少したこと等による。

経営費に占める主要費目の構成割合は、原木費が63.8%と最も高い割合を占め、次いで機械修繕費が9.0%、光熱動力費が7.9%の順となっている。

ウ この結果、粗収益から経営費を差し引いた所得は、前年度に比べ37.7%増加し26万円となった。

表4 乾燥しいたけ（原木栽培）の経営収支（全国1戸当たり）

単位：千円

区分	平成15年度	14	対前年度増減率(%)	
粗収益	1 038	1 041	△	0.3
経営費	778	853	△	8.7
うち、種菌費	1	15	△	91.6
原木費	497	491		1.2
光熱動力費	61	62	△	1.3
機械修繕費	70	97	△	27.8
建物維持費	27	32	△	13.6
賃借料・料金	31	38	△	17.0
荷造運賃手数料	26	23		11.3
所得	260	189		37.7
所得率(%)	25.0	18.1		6.9

注： 所得率の対前年度増減率は、対前年度差である。

図4 乾燥しいたけ（原木栽培）の粗収益と経営費（全国1戸当たり）

